

Point

J R 東海 大阪修繕車両所分会分会情報

No. 22 2010. 01. 01.

発行責任者 坂東 貞男

編集責任者 教 宣 部

年頭に当たって

分会長 坂東貞男

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、職場では車両所の組織改編によって大一両所が二つに分割されたり、台交の外注化が進んだりしました。また、分会も大一両分会が大阪修繕車両所分会と大阪仕業検査車両所分会に分かれました。

私たちの身の回りで何かと騒がしい一年でしたが、JR東海労の労働運動とりわけ大阪修繕車両所分会結成後の分会活動への御協力大変ありがとうございました。

分会は早いもので結成して6ヶ月目に入りました。この間組合員の皆さんには私を始め未熟な執行部なためにご迷惑をおかけすることもありました、またお叱りを受けることもありましたが、組合員の皆さんのご協力で分会一丸となって取り組みを進める事が出来、最近では分会外から「修繕車両所分会はよくやっている」とお褒めの言葉をいただくこともあります。改めて分会組合員の皆さんにお礼を申し上げます。

さて、2010年寅年を迎えましたが、今年はどんな年になるでしょう？

また組合員の皆さんはどんな年にしたいでしょうか？

組合員の皆さん一人一人の心に様々な希望や抱負があることだと思います。

もちろん私にもあります。組合員の皆さんも同じでしょうが、まず一番は自分自身や家族が無病息災で過ごせる一年にしたいということです。

私の場合は、その次に仲間や仲間の家族が無病息災で過ごせる一年にしたいということです。

そして分会長としては、大阪修繕車両所分会が新幹線関西地本で一番と言われる分会にしていきたいと思っております。

一番といっても色々ありますが『仲間を思う心』が一番強い分会を目指したいと思えます。『仲間を思う心』と言っても抽象的なものなので形や数字で表せるものではありませんので何をもって一番なのだとか思われるでしょうが、一番を目指すという心意気で今年一年を分会長として組合員の皆さんは勿論のこと分会執行部の最先頭に立って頑張っていく所存です。

具体的な運動として、労働条件改善の取り組み、安全への取り組み、反戦平和の取り組み、反弾圧の取り組み、組織拡大の取り組み、等々、目前の課題を一つ一つ真正面から組合員の皆さんと共に取り組んで行きます。ご協力お願いします。

1月15日の新年会は、みんなで大いに飲み、食べ、語りましょう。

そして、2月19日には加藤誠二さんの民事裁判の判決が出されます。大阪修繕車両所分会は、組合員一丸となって名古屋地裁に結集しようではありませんか！



このたび新年を機に大阪修繕車両所分会の分会情報名を『Point』と改めることになりました。この情報名は身近なところでは線路のポイントなど、様々な場面で使用される言葉ですが、分会情報としては「要点、重要な箇所」との意味から名付けたもので、常日頃ものごとのポイントを押さえた情報発行を目指していく決意を込めたものです。なお、名称は変わりますがこれまでの分会情報を継続していくものなので、発行号数は継続していきます。